

Z世代をキーワードとした これからのビジネスソリューションについて

講師： SDR株式会社 代表取締役 永田 実 氏

顧客をカテゴリ化してマーケティング戦略を立てる拠り所として、以前はF1、F2とかのカテゴリ化であったのが最近X、Z、ミレニアムとかのカテゴリ化に移ってきています。さて、人を分類することがそもそもできるのでしょうか。また全ての人がそのカテゴリに入ってくるのでしょうか。

なんのためのカテゴリ化なのかを考えてみないといけないですね。耳学問でわかったように吹聴して安心しているだけではないですか？事実を見たのですか？

マーケティングの年間計画って表面的にわかったような言葉で取りまとめることが多く、実際は何をするのか全くわからないことが非常に多いです。

“グループ全体を横串でつないでマーケティングの共有化する。”

“顧客データを収集し活用する”

“ファンを10万人作る”

等々、で、何をするの、そしてその結果は誰にどんな価値を提供するの？

イメージ、方法論ばかりの目的がなんと多いこと。

Z世代もその文章つくるのには最適なワードです。

デジタル化を提案していくサプライヤに丸投げするための社内提案書に必須ワードです。

サプライヤもそこを狙ってそのワードをちりばめます。

その結果として、無用なツールが入るだけで顧客は何の価値も得られないでしょう。

喜ぶのはサプライヤだけ。

Z世代というワードが本当は何を意味するのか、そしてこれをキーワードとして何をしていかなければならないのか考えましょう。

<プロフィール>： 大阪大学:人間科学部 行動心理学専攻。

村田製作所:

インダストリアルエンジニアとして工場、作業デザイン、業務改善推進、SEとして自動化ライン設計/導入/運用。

ソニー:

グローバルサプライチェーンのデザイン/導入推進。データベースマーケティング導入と運用推進。VAIO事業の立ち上げ。事業部システム全体を企画導入。国内メーカー初のECであるソニースタイル立ち上げ。ソニーコールセンターサービスをアナログからネットへ変換。プラザ等ソニーのリテールグループのネット化推進行う

アスクル:

コールセンターデジタル化。マーチャンダイジングとマーケティングの両方を担当。

新規事業立ち上げ(サービスビジネス、アウトレット事業、LOHACO、越境EC)

独立後:

リクルート次世代事業推進、博報堂社内ベンチャー立ち上げ、その他食品/電力/化学/家電/自動車/建設等の企業の新規事業とDXの推進を行う。

博報堂社内ベンチャーの一つとしてデジタルショールーミングストア企業(SDR株)を立ち上げ、拡大推進中。



食品産業文化振興会



第262回 例会のご案内

日時: 2020年 7月 28日(火) 15:00~17:00

会場: **食情報館** <東京都中央区八丁堀2-14-4 ヤブ原ビル6階
日本食糧新聞社 内 1階はマルエツプチ>

参加費: 一般受講ご希望者 16,500円(税込)
【食品産業文化振興会 会員企業は無料になります】

■Webセミナーも実施します。確認ください <https://bit.ly/3doKnNf>

FAXで **03-3537-1071** までお申し込み下さい。

会社名			
住所	〒		
TEL			
○印	部署/お役職	お名前	E-mail or FAX
来場 / Web			
来場 / Web			
来場 / Web			



会場案内

最寄駅
 JR 東京駅
 八重洲中央口 徒歩12分
 JR 京葉線
 八丁堀駅 A3 出口 徒歩7分
 東京メトロ日比谷線
 八丁堀駅 A5 出口 徒歩2分



日本食糧新聞 セミナー



◎ **セミナー情報**

<http://bit.ly/Ke3If3>

◎ **セミナー申込**

<http://bit.ly/1cSZRCk>

日本食糧新聞社・食品産業文化振興会事務局

電話 03-3537-1310 FAX 03-3537-1071

〒104-0032 東京都中央区八丁堀2-14-4 ヤブ原ビル7階

セミナー情報 : <http://bit.ly/Ke3If3>

提供いただきました個人情報は、当該業務および当社からのご案内を目的として利用します。なお、個人情報を当該業務の委託に必要な範囲で委託先に提供する場合や関係法令により認められる場合などを除き、お客様の許可なく第三者に提供することはありません。